

唐津市立北波多小学校
学校だより 第32号



北波多小便り

令和5年2月28日発行
発行者 校長 真子靖弘

6年生に感謝

2/24日(金)、児童会主催
「6年生ありがとう集会」を
開催しました。児童一人一
人が、この日にむけて入念
に準備をし、臨んだことを強く感じた会でした。



<6年生ありがとう集会プログラム>

～6年生入場～

- 1 はじめのことば
- 2 全校斉唱「365日の紙ひこうき」
- 3 1～5年生からの出し物
- 4 6年生の出し物
- 5 全校ゲーム「中学校へ行こうよ」
- 6 感想交流
- 7 校長先生の話
- 8 おわりのことば



～6年生退場～

1年生がプレゼントした冠を6年生が退場するま
で被っている姿が可愛らしく、優しさを感じました。
どの学年も創意工夫した歌やダンス、劇、合奏等で6
年生に感謝の気持ちを伝えていました。6年生から
笑い声が出たり、笑顔がこぼれたりしていました。

「6年生が笑顔で卒業できるような贈り物や発表をす
る」という目的が達成できていたと思います。

各学年毎に発表の最後に、学年の代表者が、6年生
への感謝のことばを述べていました。また、その言葉
を受けて、6年生の代表が、お礼や後輩への励ましの
メッセージを返していました。この言葉のやり取り
も温かいものでした。少しだけ紹介します。

- ・たくさんお世話してくれてありがとうございました。
- ・縦割り掃除で優しく教えてくれました。
- ・とても楽しい劇でした。来年は高学年の仲間入りです。
がんばってください。
- ・素敵な演奏ありがとうございました。北波多小のリー
ダーとしてがんばって下さい。

こうやって伝統が創られていくのだと感じました。

地域の方に感謝

先日、1年生へ学校支援
ボランティアの岸田様より
「お雛様の折り紙(応援メッ
セージ付き)」を頂きまし
た。とても素敵なお雛様で、1年生も大喜びでした。



2/25(土)には、北波
多地区青少年育成協
議会様・北波多地域ま
ちづくり会議様に横
断幕を社会体育館北
側のフェンスに設置



していただきました。地域の皆様から寄せられた標
語「声かけて地域で育てる北波多の子」が記されてい
ます。

家庭や学校だけでなく、地域全体で北波多地区の
子どもたちを育てていこうという気持ちに感謝です。

やればできる！

お笑いコンビ・ティモンディの **高岸
宏行**さんをご存じでしょうか。現在は、
プロ野球選手(独立リーグ・栃木ゴール
デンブレイブス)としても活躍されています。



高岸さんがよく「やればできる！」という言葉を口
にされていることは知っていましたが、その意味を
わかっていませんでした。高岸さんは、次のような意
味を込めて使われているとおっしゃっていました。

「やればできる」とは、やれば成功できるということでは
なくて、**挑戦をすることで成長が約束されているよ**とい
うこと。成長ができる、それが大事なんだよということす
ね。トライこそ、挑戦こそ大事なんだよというのは、僕は気
持ちを込めて普段は言わせていただいています。

出典：初等教育資料 令和5年1月号

人生、うまくいかないことだらけですけど、**挑戦す
ることで自分が成長できる**という点は共感します。結
果だけに注目せず、**過程を大事にしたい**ものです。